

令和7年度特色ある学校づくり推進事業報告書

学校番号(55) 学校名 豊田市立 御作小 学校

1 テーマ

「人とのふれあいを通して、ふるさとを愛し、心豊かにたくましく生きる子」

2 ねらい

- ・地域講師の力を生かし、学校の諸活動の中に取り入れ、活気ある学校づくりを図る。
- ・体験活動や協働学習を進める中で、地域の自然や歴史、人々の生き方・考え方について学ぶ。
- ・学んだ成果をさまざまな方法で発信する。
- ・高学年の複式化により、隔年で全校地域学習を行い、全校児童がより地域について知り、地域を愛する心を醸成する。
- ・石畳小学校の高学年と交流することで、藤岡という地域について学び、藤岡中学校で一緒になるという仲間意識を育む。

3 活動内容

(各学年の活動) 地域の学習素材に発達段階や系統性を考慮した単元を構成し、学習を進める。

- 1年 : 野菜作りを通して、地域の方と交流したり、多くの体験をしたりする。地域の方から昔の遊びについて学ぶ。
- 2年 : 野菜作りのことや、地域で様々な活動をしている人との交流から学んだことを、まとめたり発表したりする。
- 3・4年 : 栽培した野菜の栄養や特徴について、探究テーマをもち、問題解決のために調理や調べ学習を行い、学んだことをまとめて他者へ表現する。障がい者について学んだり、障がい者の立場のわかる体験をしたり、交流したりする。
- 5・6年 : 地域の特産の米作りを通して、農業に従事する人の苦労や工夫を学ぶとともに、学んだことを他者に伝える。また、棒の手や大沢池、ふじの回廊や城ヶ根山など地域にあるものから御作の魅力を発見し、その魅力をまとめたり、発表したりする。石畳小学校の高学年と交流し、藤岡地区の自慢に気づいたり、仲間意識をもったりする。

(全校での活動)

- ・陶芸教室に地域講師を招き、作品づくりを通して地元の伝統産業について知るとともに、地域への愛着を深める。
- ・本校独自の全校ダンス「シャイニングロード」や御作小学校の歌曲「まほろば」のための講師を招聘し、ダンスや歌唱の技能を高めるとともに愛校心を育て、保護者や地域の方たちに発信することで心の交流を図る。

：川口やなや石畳ふれあい広場などを巡り、地域の魅力を再発見する活動を行う。

：6年生は石畳小学校の高学年と交流することで仲間意識を育み、中学校への不安を軽減する。

4 成果と課題

(成果)

- ・地域の方から米や野菜の育て方や昔遊びなどを、体験を通して学び、地域への愛着を深めることができた。
- ・地域の陶芸制作者と交流し、自分で陶芸作品を作ることを通して、芸術についての感性を高めることができた。本年度も、交流館の作品展に出品し、地域の方から評価された。
- ・プロのダンス講師から指導を受けることによって、表現力を高めることができた。また、自信をもって笑顔で演技をすることができた。
- ・保護者アンケートの「特色ある学校づくり推進事業」に関する項目の、「とてもよい」「よい」の回答が100%であった。
- ・校内整備員を2名体制で実施したことで、整った環境で運動会や持久走大会を実施することができた。松などの樹木の剪定やグラウンドの草取り、池底の清掃等、熱心に取り組んでいただいたこともあり、保護者アンケートでも100%の方が施設管理について「とてもよい」「よい」と回答している。
- ・本年度は合唱指導の時間を増やし、さらに、講師の方に来ていただく回数を増やした。的確な指導と要点を絞った練習で子どもの歌声が変わった。
- ・栽培活動や総合的な学習の時間の様子を、どの学年も積極的に学級通信等で紹介したため、保護者の認知度数が上がっている。ホームページのアクセス数も多い。

(課題)

- ・児童数が年を追うごとに減少していく。そのため、総合的な学習の時間の複式プログラムを利用し始めたが、担当の教員からの意見を大切に、来年度以降の計画にフィードバックさせたい。昨年度作成した暫定的な部分の可否を含め、御作小学校の城ヶ峰学習の計画を、より地域性を生かしたものと向上させたい。

5 保護者・地域への情報発信の取組実績

- ・ホームページの更新は校長が担当し、ほぼ毎日更新しており、講師が関わるすべての行事において、講師と子どもたちの学ぶ様子を紹介した。
- ・学校だよりや学年通信で、活動について紹介した。また、新しくお便りがアップされるときには、きずなネットワークを利用し、全家庭に呼びかけた。
- ・保護者や地域会議委員など来客の際には地域学校共働本部に地域コーディネーターがまとめた写真を中心とした活動の記録を見ながら、地域コーディネーターによる活動の説明を行った。
- ・学習発表会で特色ある学校づくり推進事業に関わる公開授業を行う。(全学年)